
最強の転生者、その名は坂田銀時！

ゆずぽん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最強の転生者、その名は坂田銀時！

【Zコード】

N4157BA

【作者名】

ゆずぽん

【あらすじ】

「じとも庇つて死んだ男、その名は坂田銀時。彼は閻魔大王の元で働く青鬼のミスで死んでしまった。そのお詫びに閻魔は銀時にあるくじ引きをさせる。それは異世界の名前が書いてあるくじ。そしてそこに転生させるというのだ。閻魔にもらった能力を使い白夜叉は今旅立つ！！

死んで出合つたのは閻魔様（前書き）

「うちの銀時は過去が酷く、トラウマも持っています。また、白夜叉」としての面もです。主にキレたりしてゐる時に。

死んで出会ったのは閻魔様

「坂田銀時。死因はテロ組織の爆破に巻き込まれそうだった子供を庇い自身は重症の傷と大火傷を負い即死か。・・・どうした？？」

「俺あれで死んだの？！まちかよ・・・。（いやいやそれよりやべえ。ドラゴンボールで見た閻魔様そつくり。銀さんちよー感動！）

」

銀時が目を覚ますと目の前には巨大な机と椅子があり、その椅子にジャンプで見た閻魔大王がいた。自分が死んだことに驚きはしたが、それよりも自分の好きなジャンプのキャラに会えたことの方が勝つていたのだ。

「話を進めるぞ。本来お前の寿命はもつと長かった。しかし儂の部下が儂のお茶をこぼしてしまってな・・・。お前の寿命の所の数字が滲んでしまいすぐに直したのだが間に合わなかつた。」

「つまり数字がはつきりしてなかつたからあの時死んじまつたつて事か。」

「申し訳ござりません……」

横でお茶をこぼしたらじき青鬼が土下座して謝つてきた。銀時は頭を床に打ち付けて謝る鬼をなんとか止めた。

「あー・・・やつちまつたもんはしょうがねえだろ。」

頭を搔きながらいつ銀時に鬼は泣きながら頭を打ち付けてお礼を言った。

「それやめるよー！血が気持ち悪い程出でんんだよー！ホラー映画をリアルで見たいなんて言つてねえだろ？？！……はあ。んで閻魔様？俺はこの後どうなんの？？天国？地獄？」

「そのどちらでもない。坂田銀時、くじを引け！引いたくじに書いてある刑にお前を処す。」

閻魔大王がだしたくじ引きの箱に手を入れ、

「それを引いたか！お前をナルトの世界転生の刑に処す！！！」

「安心しろ。主人公が下忍になる2か月前にお前は木の葉に転入していくことになっている。その日まで半年の余裕があるからその間に能力を操れるようにするのだ。」

「まぢ？そりゃラッキーだわ。でも能力ってなんのことだよ。チヤクラの事か？？」

「一つは身体能力を悟空並にしてやろ。そして瞬間記憶能力だ。後一つは好きなものでいいぞ。」

もう最強じゃね？サイヤ人並の身体能力つてもう化け物じゃね？でも俺ワンピースの悪魔の実の能力つて使ってみてえし・・・斬魄刀も捨てがたい！！！指輪から炎も出してみたい・・・・。どうする？！どうすんだ！！俺ええええええええ！！！

「そんなに悩むならジャンプの技とアイテムを使えるようにしてやる。どうだ？？」

「いいんスか！！流石闇魔様！太っ腹あー。・・・・ああー！！！ナルトの世界にはジャンプあんの？！俺あれと糖分がないと生きていけねえ。」

「ジャンプは全ての世界にあるぞ。実は僕もよく読んでいる（二カツ）さてそろそろ送るぞ。家には食料と10年は困らないほど

金が入った通帳があるからな。」

「おう。まあ～ありがとな。あ！最後に！前の世界の奴らから、俺の存在を消してくれつか？アイツらの事だ。ビーセウジブじしてるだろ？しじょ。んじゅ。」

銀時はそう言い残し、送られていった。閻魔は銀時の言葉に含まれた優しさを知り、頼まれた通りに歌舞伎町から坂田銀時の存在を消したのだった。

死んで出会ったのは閻魔様（後書き）

転入までとんじやいます。早く原作に入りたいんで汗
ナルトの世界の他に、「もし〇〇〇〇の世界に入つたら……」とい
うよつにほかの世界の話も書いりと思つていてます。もし、希望の世
界があれば教えて下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4157ba/>

最強の転生者、その名は坂田銀時！

2012年1月10日23時49分発行